



平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月10日

上場会社名 鳥越製粉株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 2009 URL <http://www.the-torigoe.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 鳥越 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中川 龍二三

TEL 092-477-7112

四半期報告書提出予定日 平成22年5月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	5,242	△12.2	470	△28.5	475	△28.2	234	△35.0
21年12月期第1四半期	5,971	—	657	—	662	—	361	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	9.03	—
21年12月期第1四半期	14.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	27,904	21,830	78.1	838.71
21年12月期	28,750	21,747	75.6	835.55

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 21,804百万円 21年12月期 21,722百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	11.00	11.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期 (予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	11,088	△9.6	1,162	△6.4	1,195	△6.9	706	△3.6	27.16
通期	23,100	△3.6	2,420	0.0	2,490	0.2	1,470	3.1	56.54

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年12月期第1四半期	26,036,374株	21年12月期	26,036,374株
② 期末自己株式数	22年12月期第1四半期	38,899株	21年12月期	38,749株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年12月期第1四半期	25,997,513株	21年12月期第1四半期	25,786,808株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績予想等の将来に関する事項は、現時点で当社が入手している情報や合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は種々の要因により大きく異なる場合がありうることをご承知おきください。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした海外経済の回復や緊急経済対策の効果などにより持ち直しの兆しがみられるものの、厳しい雇用情勢やデフレ傾向が続き自立性は弱く依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中にあって当社グループは、中期経営計画「C&C フェーズⅡ」に基づく諸施策の実施に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、昨年実施した製品価格の値下げの影響により52億4千2百万円(前年同期比12.2%減)となりました。収益面では減収に加え諸経費が増加したことにより、営業利益は4億7千万円(前年同期比28.5%減)、経常利益は4億7千5百万円(前年同期比28.2%減)、四半期純利益は2億3千4百万円(前年同期比35.0%減)となりました。

部門別の状況は次のとおりです。

(1) 食品部門

①製粉については、出荷の減少に加え昨年5月及び11月に実施した製品価格の値下げの影響により、売上高は26億3千万円(前年同期比18.0%減)となりました。

②食品については、プレミックスを中心に出荷が上伸し、売上高は17億9千6百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

③精麦については、出荷は増加しましたが製品価格の値下げが大きく影響し、売上高は6億9千万円(前年同期比21.9%減)となりました。

(2)飼料部門については、売上高は1億2百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

(3)その他部門については、売上高は2千2百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は279億4百万円となり、前連結会計年度末比8億4千5百万円減少しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品が減少したことによるものです。

また、負債合計は60億7千4百万円となり、前連結会計年度末比9億2千8百万円減少しました。この主な要因は、未払法人税等、借入金が減少したことによるものです。

純資産合計は218億3千万円となり、前連結会計年度末比8千3百万円増加しました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は108億7千5百万円となり、前連結会計年度末比1億1千1百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、7億9百万円の収入となりました。この主な要因は、法人税等の支払、仕入債務、その他負債の減少などにより資金が減少した一方、税金等調整前当期純利益の計上、棚卸資産や売上債権の減少により資金が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△2億4千2百万円となりました。この主な要因は、前期に実施した業務処理システム投資に関連するソフトウェアの取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、△3億5千5百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払や借入金の返済による支出によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

原料価格の変動に伴う製品価格の改定や輸入麦の政府売渡制度の変更など、業界を取巻く環境は激変しており、企業間競争は一層激しくなるものと思われます。平成22年12月期業績予想につきましては、現時点では変更はありませんが、原料価格と製品価格の動向などにより今後の業績に重要な変更が予想される場合には適時適切に開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理については、該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,604,295	8,591,132
受取手形及び売掛金	2,978,894	3,541,624
有価証券	2,477,496	2,427,488
商品及び製品	785,262	805,675
原材料及び貯蔵品	1,160,264	1,475,144
その他	168,292	188,042
貸倒引当金	△20,824	△20,914
流動資産合計	16,153,681	17,008,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,884,286	1,921,531
機械装置及び運搬具(純額)	1,126,730	1,180,306
土地	5,449,720	5,449,720
その他(純額)	178,522	131,748
有形固定資産合計	8,639,260	8,683,306
無形固定資産		
無形固定資産合計	321,954	340,937
投資その他の資産		
投資有価証券	2,325,414	2,166,870
その他	567,277	653,437
貸倒引当金	△102,744	△102,744
投資その他の資産合計	2,789,947	2,717,563
固定資産合計	11,751,162	11,741,808
資産合計	27,904,844	28,750,001
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	418,072	478,688
短期借入金	1,827,250	1,825,500
未払法人税等	168,691	555,617
賞与引当金	90,342	—
役員賞与引当金	8,700	39,100
その他	667,984	1,102,377
流動負債合計	3,181,041	4,001,284
固定負債		
長期借入金	1,406,000	1,493,000
退職給付引当金	330,184	330,847
その他	1,156,800	1,177,311
固定負債合計	2,892,985	3,001,159
負債合計	6,074,027	7,002,443

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,805,266	2,805,266
資本剰余金	2,810,865	2,810,865
利益剰余金	15,879,772	15,930,984
自己株式	△21,457	△21,341
株主資本合計	21,474,447	21,525,775
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	330,017	196,442
評価・換算差額等合計	330,017	196,442
少数株主持分	26,352	25,340
純資産合計	21,830,817	21,747,558
負債純資産合計	27,904,844	28,750,001

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	5,971,077	5,242,419
売上原価	4,526,384	3,948,029
売上総利益	1,444,693	1,294,390
販売費及び一般管理費	787,120	824,252
営業利益	657,572	470,138
営業外収益		
受取利息	5,586	2,655
受取配当金	92	451
固定資産賃貸料	6,444	8,046
その他	8,760	8,189
営業外収益合計	20,884	19,342
営業外費用		
支払利息	12,194	12,977
その他	3,942	1,145
営業外費用合計	16,136	14,122
経常利益	662,320	475,358
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,434	90
国庫補助金	5,500	—
助成金収入	—	2,800
特別利益合計	6,934	2,890
特別損失		
固定資産売却損	—	124
固定資産除却損	2,199	591
投資有価証券評価損	58,314	65,725
特別損失合計	60,513	66,441
税金等調整前四半期純利益	608,741	411,806
法人税、住民税及び事業税	275,443	154,596
法人税等調整額	△28,356	21,437
法人税等合計	247,087	176,033
少数株主利益	385	1,012
四半期純利益	361,269	234,761

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	608,741	411,806
減価償却費	120,231	132,668
のれん償却額	4,391	4,391
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24,415	△90
賞与引当金の増減額 (△は減少)	96,621	90,342
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,808	△662
受取利息及び受取配当金	△5,679	△3,107
支払利息	12,194	12,977
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2,199	715
投資有価証券評価損益 (△は益)	58,314	65,725
売上債権の増減額 (△は増加)	549,566	562,730
たな卸資産の増減額 (△は増加)	935,536	335,292
仕入債務の増減額 (△は減少)	△151,516	△60,616
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△41,400	△30,400
その他	△28,351	△274,406
小計	2,157,242	1,247,367
利息及び配当金の受取額	5,993	2,826
利息の支払額	△11,739	△12,816
法人税等の支払額	△932,714	△528,226
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,218,782	709,150
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△6	△8
定期預金の預入による支出	△900	△6,400
定期預金の払戻による収入	100,000	54,600
有形固定資産の取得による支出	△55,159	△21,267
有形固定資産の売却による収入	—	200
無形固定資産の取得による支出	—	△269,412
投資有価証券の取得による支出	△129,308	—
貸付金の回収による収入	2,190	60
その他	△2,508	△722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,692	△242,950
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	210,000	30,000
短期借入金の返済による支出	△279,750	△8,250
リース債務の返済による支出	—	△3,963
長期借入金の返済による支出	△82,500	△107,000
自己株式の取得による支出	△284	△115
自己株式の売却による収入	167,187	—
配当金の支払額	△286,807	△265,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272,154	△355,226
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,401	389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	863,336	111,363
現金及び現金同等物の期首残高	6,916,889	10,764,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,780,226	10,875,970

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社の事業内容は、食料品部門、飼料部門、その他部門に分類されます。

当第1四半期連結累計期間においては、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める食料品部門の割合が、90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間においては、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社が存在しないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間においては、海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。